

かわせみ(日高市の鳥)

August 2007

2号

<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html>

埼玉医科大学

国際医療センターニュース

INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS

CONTENTS

- 2P 救命救急センターのご紹介：看護部
- 3P 病院薬剤師の新たな業務：薬剤部
- 4P 血管撮影装置のご紹介：中央放射線部
- 5P 管理栄養士の活動について：栄養部
- 6P 検体検査・生理機能検査について：中央検査部
- 7P 高額療養費限度額適応認定証をご存知ですか？：総合相談センター
セカンドオピニオンを希望される方へ：がん相談センター
- 8P 皆様からのご意見と当院の対応：診療サービス委員会
予約センターからのお願い
- 9P インド消化器学会に参加して：消化器内科准教授 喜多宏人
地域医療連携室のご紹介：地域医療連携室長 棚橋紀夫
- 10P 中央手術室のご紹介：麻酔科教授 北村 晶
- 11P 電子カルテシステムのご紹介：情報システム部
- 12P 大学病院入院患者の国際医療センターへの転院搬送のお礼
- 14P ラーニングセンター（患者図書室）利用案内
ご面会の皆様へ
- 15P 国際医療センター周辺道路マップ
- 16P 構内配置図／交通案内

祈り像

- 基本理念**：患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供をし、かつ最も高度の医療水準を維持する。
- 使命**：当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供する。
- 基本方針**：患者中心主義（patient-oriented）を貫き、あらゆる面で“患者にとって便利”であることを主眼とし、患者ひとりひとりにとって最も適切な医療を提供する。

救命救急センターのご紹介

看護部

救命救急センターは心停止、外傷、中毒、熱傷、各種ショックや一般疾患の緊急重症例（脳卒中、急性呼吸不全、急性心筋梗塞、急性腹症等）に対し24時間体制で患者さんの受け入れを行っています。屋上のヘリポートとは専用のエレベータで結ばれており埼玉県内の全地域から患者さんを受け入れる体制が整備されています。4月には防災ヘリ搬送訓練が行われ、すでに数件のヘリ搬送を受け入れています。



埼玉県防災ヘリによる患者搬送訓練

搬送された患者さんは初療室（6床）で救急処置を行います。心肺蘇生に必要な医療機器、人工呼吸器、除細動器などがあります。またCT室、血管造影室が隣接しており速やかに検査を行うことができます。



初療室

救命救急センターの看護師は救命救急科の医師との連携により短時間で緊急度・重症度を判断し、病状が急激に変化する中で、診療の補助と看護援助、危機的状況にある患者さんと、ご家族の精神的援助を行います。

救急処置や検査・手術が行われた後は、集中治療室（ICU）または、一般病棟へ入院となります。ICUでは、呼吸・循環・代謝・その他の全身管理、治療、看護が集中的に行われています。

ICU入室中は、人工呼吸器や心電図モニターなどさまざまな医療機器を使用して、患者さんの治療・看護にあ



処置室

たりますので、一般病棟への入院環境とはかなり違いがあります。また、治療が最優先されますので、ご家族の面会も制限させていただいております。

このような特殊な環境での治療を余儀なくされている患者様に、少しでも快適に過ごしていただけるよう看護師がケアプランを立案し、清拭・歯磨き・洗髪などの清潔援助をさせていただいております。また、医師、薬剤師、臨床工学技師と情報を共有し、重症な患者さんに対して常に安全で質の高い看護を提供するよう心がけています。



救命ICU



救命ICU内

病院薬剤師の新たな業務

薬剤部

【はじめに】

悪性新生物（がん）は1981年以降わが国の死亡原因の1位であり、日本人の3.7人に1人ががんで死亡している現状であります。さらにがんによる死亡者数は、わが国の人口構成の高齢化と相まって今なお年々増加の傾向にあり、今後さらに増えていくことが予想されます。また社会のがん医療に対する関心が高まりつつあり、患者様の知る権利や情報の開示から「がん告知」が普及し、患者様やその家族の方々はより効果的で質の高い治療の提供を望んでいると思います。

がんの治療は局所治療としての手術療法、放射線療法、全身治療としての薬物療法（抗がん剤療法）に分けられ、

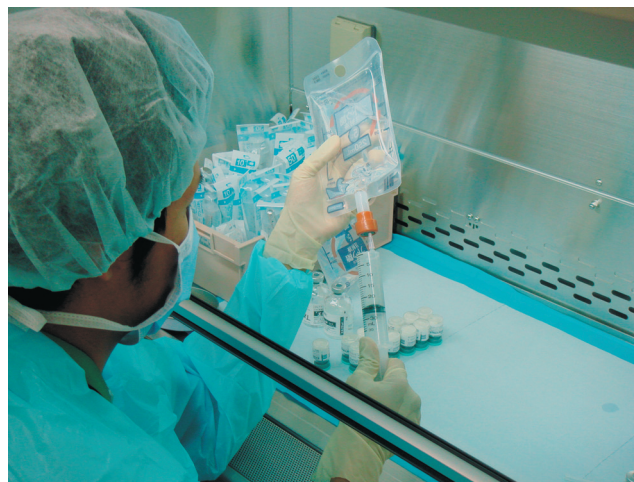


中でも薬剤師は抗がん剤を用いた薬物治療に大きく関わることが中心であります。今までは抗がん剤でも内服薬に関わる調剤、注射薬の取り揃えと薬の説明が主な業務でした。この度、埼玉医科大学国際医療センターの開設に伴い外来通院治療センターが中央部署の1つとして設置されました。ここには抗がん剤調製のための専用の部屋が設置され、薬剤師が業務の一環として、外来にて診察された患者様の抗がん剤を一括して調製することになりました。

今回は薬剤師が抗がん剤調製を行うようになった経緯、業務の紹介をしたいと思います。

【経緯と業務】

埼玉医科大学病院（本院）では2002年に臨床腫瘍科と外来通院治療センターが設置され、薬剤師の抗がん剤調製業務を行ってきました。埼玉医科大学国際医療センターに移ってからは外来通院治療センターでの業務が増えることが予想されることから、より高度で正確な技術の取得とがん治療の理解を目的として国立がんセンター中



央病院や慶応大学病院において研修を重ねてきました。

がんの薬物治療は世界的に標準化され、最先端の治療を行うことを念頭において当センターで承認した有効、かつ安全な治療のみを行っています。

薬剤師は担当医師より指示された抗がん剤治療計画書の可否を独立した立場で検討し、当日の治療の妥当性を判断して、医師からの処方に従い正確に抗がん剤を調製することに併せて、薬剤投与の最終チェックの役割を果たしています。

最後に、患者様に安心して治療を受けて頂くことが可能になると考えており、これを実現するために日々知識の向上、技術の向上にこころがけていきたいと考えております。

また、がん治療における特化した当センターの特徴を十分生かし、将来のがん薬物治療領域の専門家を育成することを目指しています。



血管撮影装置のご紹介

中央放射線部

○埼玉医大国際医療センターに（平成十九年六月十日現在）配置されている血管撮影装置は救命救急に1台、2階中央放射線部に1台4階に2台、4階手術室に2台の計6台になります。

救命救急血管撮影室

（装置名：フィリップス社製Allura Xper FD20／10）

回転DSA機能及びCT様画像撮影機能を搭載した装置です。主にくも膜下出血等の脳血管疾患の患者様に対する脳血管造影検査及び脳血管内治療（コイル塞栓術、頸部ステント留置術など）を行う部屋です。また全身の血管に対しても対応可能である為、多方面の分野の造影検査及び治療が可能となっております（写真1）。

開院からの総件数は約180件に上ります。



写真：1

2階中央放射線部血管撮影室

（装置名：シーメンス社製Axiom Artis dTA）

回転DSA機能及びCT様画像撮影機能を搭載した装置です。主に体幹部の血管造影検査及び治療を行います。現在のところ緊急での対応となっております（写真2）。



写真：2

4階心臓カテーテル検査室

（装置名：シーメンス社製Axiom Artis dBC、TOSHIBA INFx8000V/J9）

主に心臓病センターが施行する成人心臓の診断カテーテル検査及び経カテーテル治療（血管拡張術、ステント留置術、血栓吸引術等）不整脈検査、及び治療（アブレーション等）、また小児心臓科が施行する小児心臓の診断カテーテル検査、及び経カテーテル治療（心房中隔欠損閉鎖術等）を行う部屋です（写真3：シーメンス社製）（写真4：東芝社製）。開院からの総件数は約500件に上ります。



写真：3



写真：4

4階手術室

（装置名：シーメンス社製Axiom Artis dTA）

回転DSA機能を搭載した装置です。主にこの部屋では心臓外科が施行する大動脈に対するSTENT-GRAFT移植術や四肢末梢血管に対する血管拡張術及びステント留置術を行います。また心臓内科によるペースメーカー埋め込み術も行われ、X線透視撮影を伴う四肢及び体幹部に対する手術を行います（写真5）。



写真：5



写真：6

4階手術室

（装置名：シーメンス社製Axiom Artis dBA、シーメンス社製Axiom Artis dTA）

回転DSA機能及びCT様画像撮影機能を搭載した装置です。主にこの部屋では脳卒中センターが施行する脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、頸動脈狭窄に対するステント留置術、動静脈奇形に対する血管塞栓術など脳血管内に関する治療（手術）を行っております。またCT装置も同部屋に隣接しているため、手術中いつでもCT撮影が出来るといった機構となっております（患者様の体位変換を行わずベッドだけで移動する機構）（写真7）。

また同部屋では脳動脈瘤に対する開頭手術も可能となっており、これにより血管撮影（血管内治療も含む）、開頭手術、CT撮影が一部屋で出来てしまうといったハイブリット手術室として、これから幅広い分野での手術が期待されます（写真6、8）。開院からの総件数は約50件に上ります。



写真：7



写真：8

管理栄養士の活動について

栄養部

外来患者様の栄養相談

医師の指示のもと、「個別栄養相談」を行っております。お部屋は、固定ではありませんが、外来の診察室や相談室を使用して行っております。お食事の相談を希望される方は、外来診察時お気軽に医師・看護師にお声掛け下さい。



外来栄養相談

入院患者様の栄養管理

患者様が入院された際、すべての方に対し「栄養管理計画書」を作成しております。この計画書は、①看護師と情報を共有し栄養状態を評価する、②患者様の疾患や活動の度合いを考慮して必要な栄養量を算出する、③患者様に提供する栄養の内容・量を検討し医師・看護師と相談をする、という作業を繰り返しながら作成されます。長期間入院される患者様に対しても、3週間に1度は栄養の再評価（見直し）を行っております。

また、消化器官の手術をされた患者様、嚥下（食事の飲み込み）に障害がある患者様、疼痛管理を受けられている患者様の栄養サポートを行う専任の担当者がおります。患者様が入院された際、退院される際、また必要に応じて入院中何度か管理栄養士がベッドサイドへ伺います。その時は、どうぞ御協力をお願い致します。



入院患者様の栄養相談

医師の指示のもと、「個別栄養相談」を行っております。管理栄養士が病棟へお伺いし、主に病棟の相談室を使用しております。お食事の相談を希望される方は、お気軽に病棟の医師・看護師にお声掛け下さい。

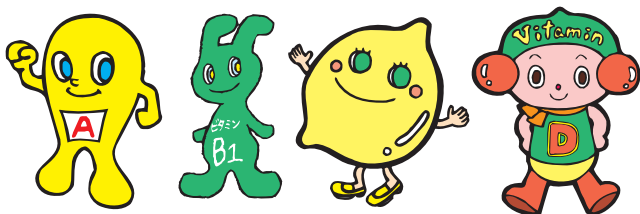
その他の活動

リハビリテーション科の協力のもと、嚥下機能に障害がある患者様がレントゲン検査（飲み込みの検査）を行う際に使用する検査食を開発致しました。管理栄養士が毎回手作りで提供しております。



バリウム入り検査食

※お問い合わせは：臨床栄養管理室 042-984-4218



検体検査・生理機能検査について

中央検査部

ー検体検査ー

中央検査部の採血室は心臓病センター、包括的がんセンター、通院治療センターの各外来に設置されています。外来のコンシェルジュで受付を行っていただくと、採血室にある採血管準備機から氏名・ID番号・バーコードの貼ってある採血管が自動的に作成され採血準備体制が整います。コンシェルジュでお渡しした呼び出し受信装置にメッセージを送信し、患者様を採血室へお呼びし、検査技師と看護師が採血を行います。採血時に誤認を防止するために認証システムを用いて採血管とIDカードを照合させてから採血をしています。

血液検査と一緒に尿検査がオーダーされている場合は、採血後に尿コップをお渡しし尿の提出をお願いするため、できるだけ採血が終わるまではトイレを我慢していただくと助かります。

さて採血後の試験管は病院建物の壁の中を縦横に走る気送管システムを経由しておよそ2分で検査室に届けられます。診察前検査には生化学検査（肝機能、腎機能、脂質、血糖など）、血算、凝固検査などが含まれますが、できる限

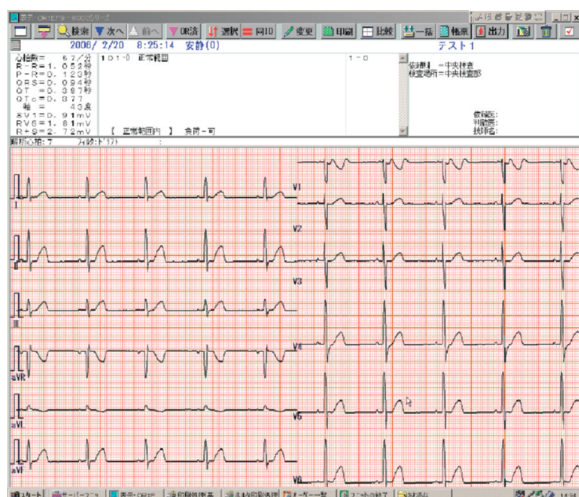
り1時間以内で検査結果を主治医宛に報告できるよう努めています。ただし腫瘍マーカー、感染症検査など測定自体に長く時間がかかる検査項目については結果報告までに1時間以上を要する検査もあります。再検査が必要な検査結果の場合も時間がかかります。この辺はご容赦願います。

ー生理機能検査ー

国際医療センターでは、心電図や脳波、超音波検査の結果を紙に印刷することなく、電子カルテに送信しております。

従って、患者様に検査結果をお渡しすることなく、電子カルテで検査実施後、数秒で検査波形や画像を担当医師が閲覧することができるようになっております。

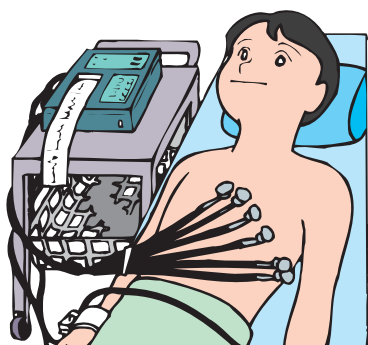
ただし、検査によっては、専門の医師による報告書作成にお時間を頂く物もあります。外来診療に対しできるだけ早く検査結果をお返しできるように考えております。



心電図波形



超音波画像（乳腺）



高額療養費限度額適応認定証をご存知ですか？

総合相談センター

「入院は決まったけれど、医療費が高額になるのでは…」と心配された経験はありませんか？今回は4月から新たに始まった「高額療養費限度額適応認定証」についてご説明します。

高額療養費限度額適応認定証とは

今までの高額療養費制度は病院の窓口で3割の医療費を支払った後、高額療養費支給申請の手続きを行い、戻ってくるまで数ヵ月かかる仕組みでした。今回の改正で、入院が決定した時点で「限度額適応認定証」を取得し、医療機関へ提出していただければ高額療養費の自己負担額（下記参照）が請求額となります。

		①1ヶ月の自己負担限度額	②4回目以降の自己負担限度額
住民税課税世帯	上位所得者	150,000円＋{(総医療費－500,000円)×0.01}円	83,400円
	一般	80,100円＋{(総医療費－267,000円)×0.01}円	44,400円
住民税非課税世帯		35,400円	24,600円

* 70歳未満の方の自己負担限度額です。最近1年間で4回以上高額療養費に該当した場合は、②の金額になります。

認定証の発行手続きについて

それぞれ加入されている健康保険組合や各市町村・社会保険事務所の保険給付課などで申請ができます。保険証（代理人申請の場合はその他に代理人の印鑑）をお持ちになり、申請書を各窓口へ提出してください。認定証が発行されましたら、受診の際に医療機関に提出してください。

※注意事項

- ・ 70歳未満で、入院治療の方のみに適用されます。
- ・ 認定証の適用は、申請した月の初日からです。
(例) 4月から入院を継続していて、5月に認定証を申請した場合、適用となるのは5月の初日からとなります。
- ・ 認定証の有効期間は、申請先によって異なります。
- ・ お手続きに関しましては加入中の保険者にお問い合わせください。

相談センターをご利用いただくには…

◇ 総合相談センター、がん相談支援センターで相談日時をご予約ください。

TEL.042-984-4106 （総合相談センター直通）

TEL.042-984-4329 （がん相談支援センター直通）

※ お急ぎの場合は直接おいで下さい。

セカンドオピニオンを希望される方へ

がん相談支援センター

今回は開院から6月中旬までにがん相談支援センターに寄せられたご相談の中から、問い合わせの多かった「セカンドオピニオン」についてご説明します。

セカンドオピニオン

直訳すれば「第2の意見」で、ご自身で納得して治療を受けることができるように、病状や治療法について、自分の担当医以外の医師の意見を聞き、参考にすることです。

どのような時に利用するもの？

- ・ 自分の担当医に診断や治療方針の説明を受けたが納得できないとき
- ・ いくつかの治療方針を提示されているが、迷っているとき
- ・ 他に治療法はないかと考えているとき

どのようにすればよいの？

他院にお掛かりの患者様・ご家族様へ

[当院の包括的がんセンターのセカンドオピニオンを希望する場合]

1. 予約方法：受付窓口（042-984-4108）に電話し、予約をお取りください。

2. 必要な資料：現在診療を受けている医療機関の介状、検査データ（CT MRI 病理検査、血液検査など）
※担当医に「セカンドオピニオンを受けたいので紹介状を用意して欲しい」と言い出しにくいこともあると思います。そのような場合には現在お掛かりの医療機関のソーシャルワーカー、または当院のがん相談支援センターにご相談ください。
3. 料金：1日1回（60分以内）10,500円で、保険外診療となります。

当院にお掛かりの患者様・ご家族様へ

どの医療機関でセカンドオピニオンを受けたいのかわからない等のご相談を、がん相談支援センターでお受けしています。

なお、セカンドオピニオンを受けた後の治療は、現在診療を受けている医療機関で継続することが原則となっています。

医療機関、医師、治療法等の選択の基準や方法は、患者様・ご家族によって異なります。がん相談支援センターでは、患者様・ご家族のご意思やお気持ちをうかがいながら情報を整理し、一緒に考え、意思決定をサポートしています。

皆様からのご意見と当院の対応

診療サービス委員会

ご意見：食事をするところがない

当院の対応：

- スターバックス脇のカフェテラスはスターバックスの利用に関わらず、ご利用頂けます。
- テレサホールの利用時間を11:00～19:30と延長しました。



これからも病院機能の向上及び患者サービスに努めてまいります。ご意見ありがとうございました。

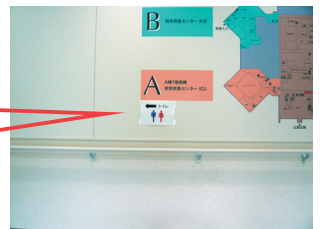
ご意見：採血後の綿、カットパンを捨てる場所がない

当院の対応：包括的がんセンター、心臓病センター、通院治療センターに専用のゴミ箱を設置いたしました。



ご意見：トイレの場所が分かりにくい

当院の対応：トイレをご案内するサインを作成し設置しました。



◆◆予約センターからのお願い◆◆

- ① 当センターは予約制を実施しております。
- ② 初めて当センターを受診する方は、予約センターで初診予約を取得して頂きます。
- ③ 予約を取得できる方は、『他の医療機関からの紹介状をお持ちの方』、又は、『包括的がんセンター、心臓病センター、脳卒中センターの受診を希望する方』のみです。
- ④ 上記③に該当する方で予約なしで来院された方の診察は予約の方の後になりますので、長時間お待ち頂くこともあります。ご理解ください。
- ⑤ 再診（次回の診察）予約は、診察終了時に担当医と相談して決めて頂きます。予約日時は、領収書に添付されている予約票で確認することができます。
- ⑥ 現時点では予約の変更は診察日時のみ受け付けており、検査・レントゲン等の検査日時の変更は受けておりません。当初の予約日時に検査を受けて頂くか、検査予約をキャンセルして頂き次回診察時に担当医と相談のうえ検査予約を再取得して頂くことになりますのでご注意ください。

なお、予約変更は、診療科によりかなり先になる場合があります。その場合は治療計画の問題もありますので、担当医と直接ご相談ください。

- ⑦ 予約センターは時間帯により、電話がかかりにくくなっております。ご迷惑をおかけしていることをお詫びいたします。

☎予約センター（平日8:30～17:00）
TEL042-984-4411

※日曜・祝祭日の受付業務は行っておりません。

インド消化器学会に参加して

本年4月にインドのカルカッタで開催されましたインド消化器病学会に参加いたしました。学会は消化器疾患や内視鏡治療を中心に連日早朝より夕方まで開催され、大変

密度の濃いものでありました。学会の公用語はすべて英語です。私は学会期間中に依頼を受け、小腸を自由に観察できるダブルバルーン内視鏡という新型内視鏡検査をカルカッタの病院内で実際に施行し、その映像を会場の参加者全員に披露する、いわゆるライブデモンストレーションを行いました。ひとりの患者様は高度な貧血で頻回の輸血をされておりましたが、ダブルバルーン内視鏡検査で小腸内に出血点が同定され、止血用のクリップを用いて内視鏡的止血に成功することができ、会場内の参加者全員に日本の内視鏡技術



消化器内科准教授 喜多 宏人

の高さをあらためて印象づけることができました。

日本の消化器内視鏡の技術は世界のトップレベルです。欧米やアジアで開催される国際会議におきまして、日本の内視鏡の技術発表やライブデモンストレーションは大変人気があります。また、世界中どこにいきましても、日本の内視鏡技術を学びたいという強い意欲を持っておられる消化器専門医に大勢お会いいたします。埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 内視鏡検査治療部門では、高い内視鏡技術を用いて患者様を診断、治療するとともに、蓄積された技術や成果を世界に向けて発信し、当施設が日本国内のみならず国際的にも認知されるよう、一層努力してゆきたいとあらためて感じました。



地域医療連携室のご紹介

埼玉医科大学国際医療センターは、包括がんセンター、心臓病センター、救命救急センター（脳卒中センターを含む）に特化し、患者さんの立場にたった先端医療を提供しています。本年4月の開院以後、埼玉医科大学病院と役割分担を行いながら地域医療に携わっております。当院では、患者さんの紹介・逆紹介および地域医療連携を強化するため、地域医療連携室を設置し、医師、ソーシャルワーカー、医務課職員が一体となってこの業務に取り組んでおります。将来的には医療連携クリニカルパスの活用を積極的に進める方針であります。当院B棟6階には地域医療連携室を設置し、先生方に気軽に紹介・入院された患者さんの見舞い、診療方針のアドバイスなどを担当医としていただけるよう配慮いたしております。病院訪問時には地域医療連携室を介して、白衣を用意し担当医との話し合いをしていただけるよう配慮しております。



地域医療連携室長 棚橋 紀夫

さらに毎月一回（第3または第4水曜日午後7時）、地域医療連携室主催で、地域医療連携懇話会を開催し、病院各科紹介、各領域における最近の診療に関する進歩、地域医療連携施設紹介、意見交換を行っております。すでに、2回開催いたしました。地域の多くの先生方にも御出席を賜りました。今後、ご紹介していただいた症例のプレゼンテーションなども積極的に行っていきたいと考えております。地域の皆様の身近な病院として、気軽にご利用いただければ幸いです。

お問い合わせは：地域医療連携室 TEL.042-984-4433



中央手術室のご紹介

麻酔科教授 北村 晶

中央手術室は、院内の中央に位置するC棟の3階と4階に合わせて16の手術室と3室の心臓カテーテル検査室があり、24時間体制で緊急手術にも対応しています。まず4階に12室ある汎用手術室が配置されたエリアでは、特定の科の手術を優先した構造を排して仕様を統一化し、あらゆる術式が可能な「コンバーティブルな手術室」の概念を導入しており、文字通り中央部門として四方の棟から流入しやすく機動性に優れています。さらに、3階にある4室の手術室では内視鏡下手術などの専門機能をもつ手術室も完備しています。手術室には最先端の生体情報モニター、麻酔器の設置はもちろん、院内のIT化（電子画像システム）を充実させ、情報が必要な際には即座に手術室内部に表示させることができます。

特徴的なものとして、脳疾患対応用に診断と治療を兼ね備えた複合手術室を所有しています。すなわち、脳血管内手術中に患者様がベッドを移動することなく、必要に応じて血管造影やCT検査も行えるよう設計され、さらに開頭手術にも移行できるハイブリッド型で、脳卒中治療に威力を発揮しています（写真）。その他、手術室と隣接して心臓カテーテル検査室があること、集中治療室を60床確保することにより、術後全身管理、重症患者さんの治療効果と安全性を高めています。さらに、広く廊下や共有スペースを取ることで手術に用いる器具、薬

品などを収容スペースワゴンで配置することにより、あらゆる事態に迅速に対応できるようにしています。

また「一足性」が採用されており、中央手術室外からスピーディに手術に入ることができます。床が器材の運搬や人の往来で汚れることはあらかじめ承知のうえで、その影響を受けないだけの高性能空調設備が、手術台付近を完璧なまでのクリーンな状態に保っています。この結果、患者さんのベッドを病室から乗せ替えなしで手術室まで運ぶことが可能になり、時間、手間の節約の他、患者さんの取り違いといった医療事故の予防にもなります。これは、急性期医療に特化した特定機能病院として広い領域の医療圏をカバーするため、効率性を高める目的からです。高い技術を有する医療スタッフが最先端の機器を用いて、急性期疾患さらに包括的がんセンターにも対応した手術を行うことを目標とします。

このように最先端の手術エリアを自認しておりますが、中央手術室は、外科医と麻酔医、看護師、コメディカルが緊密な連携の下に、手術を安全に完了させることの要求される場所です。最終的に重要なのは「人」であり、最大限の安全を患者様に提供しなければならないという使命感をもって取り組んでいます。そして患者様には心から安心して手術を受けていただくために、「患者様にやさしい医療を」という視点を忘れずに運営していきます。



電子カルテシステムのご紹介

情報システム部

国際医療センターでは、患者さまの診療情報を管理するシステムとして電子カルテシステムおよび統合画像システムを開院時より導入しております。電子カルテシステムでは診療記録や処方・検査などの情報について、統合画像システムでは最新の画像診断装置や生理機能検査機器からの画像情報およびレポート結果を電子情報としてコンピュータで管理し、院内のネットワークを介して外来、病棟および各部門に配置されたパソコン端末で参照・記録することが出来ます。これらペーパーレス、フィルムレスの実現により、一元化された患者さまの診療情報を医師、看護師をはじめ各診療スタッフが迅速に取得することが可能となり、より質の高い医療のご提供・待ち時間の短縮・チーム医療の実践・インフォームドコ

ンセントの充実など、医療サービスの向上が図られるものと考えます。

また、埼玉医科大学では川越市に設置する埼玉医科大学川越ビル内の情報センターにおいて、大学病院（毛呂山町）、総合医療センター（川越市）および国際医療センター3病院の電子カルテ情報を集中管理し、専用線による広域ネットワークにより、それぞれの病院の診療情報について、患者さまの同意を得ることにより、相互に参照できる仕組みを構築しております。国際医療センターにおいて、大学病院の診療記録や検査結果および画像情報を参照できることにより、患者さまの負担を軽減し、密接な連携診療を提供します。



外来診療室



ICU病棟ベッドサイド



病棟スタッフステーション



埼玉医科大学医療情報ネットワーク全体構成

大学病院入院患者の国際医療センターへの転院搬送のお礼



平成19年4月1日、国際医療センターの開院に伴い、大学病院の入院患者さんが救急車を使用して国際医療センターへ転院搬送されました。

9ヶ所の消防署・救急隊より特別のご援助をいただき、転院搬送が無事行われたことに深く感謝を申し上げます。

埼玉医科大学より感謝状の贈呈が行われました。



■熊谷市消防本部



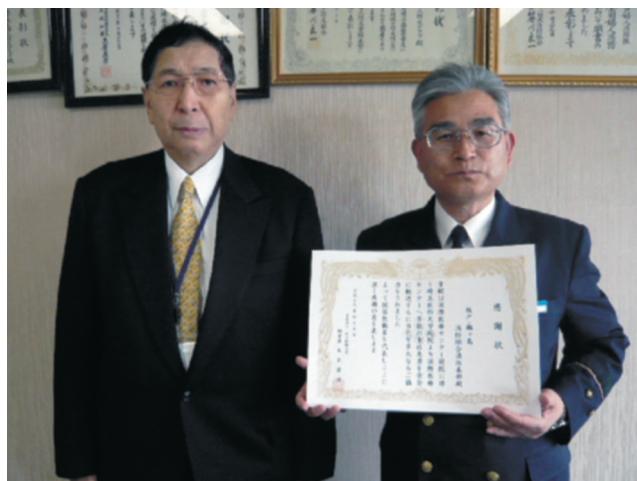
■狭山市消防本部



■入間市消防本部



■秩父市消防本部



■坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部



■比企広域消防本部



■川越地区消防局



■西入間広域消防組合消防本部



■埼玉西部広域消防本部

ラーニングセンター（患者図書室）利用案内

目的

患者さん・ご家族等が病気、治療法の知識を自ら得る場を提供することにより、

1. 治療に取り組む意欲、回復への志向を持ち、また、不安等を解消し、患者自身の健康な生活の再建を支援します。
2. 治療についての認識を深めることにより医療者と共に治療方法の意思決定を行うことを支援します。
3. 診療内容等を理解し患者さん・ご家族等が医療者とのよりよい信頼関係を構築し、納得した治療を受けることができるよう支援します。
4. 患者さん・ご家族が予後を理解し、QOLの向上した療養生活がおくれるよう支援します。

場所

C棟3階（場所は地図でご確認ください）

利用時間

午前9時から12時、午後1時から4時30分まで
日曜日、祝日は休館です。

利用対象者

当院に入院・通院されている患者さんとそのご家族

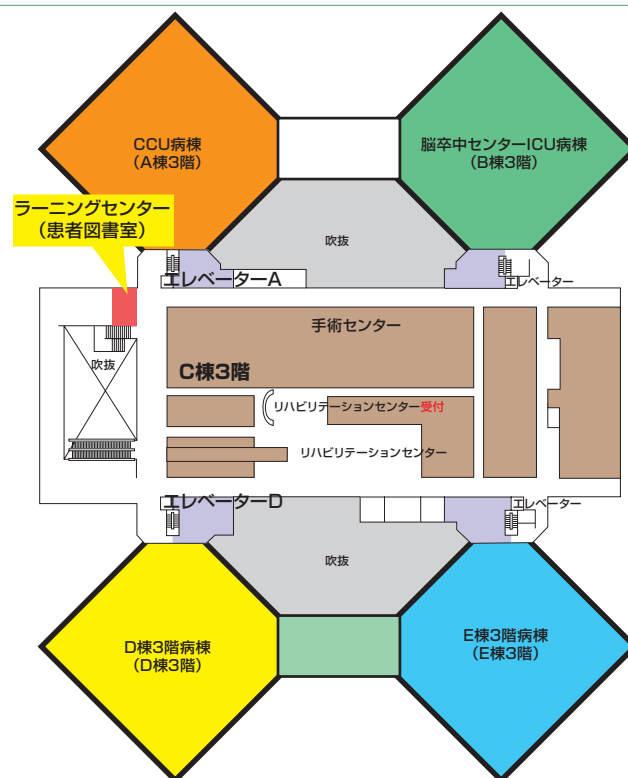
ご利用にあたってのお願い

ラーニングセンター（患者図書室）に置いてある本は、特定の治療方法を薦めるためのものではありません。担当者は、病気や治療、薬の内容に関するお問い合わせにはお答えできません。

専門書を読んで、判らないことや心配になったことは、必ず担当の医師に相談してください。

現在は図書室内のみの閲覧となっております。

室内での飲食はご遠慮ください。



※エレベータA又は、エレベータDをご利用ください。



ご面会の皆様へ

当センターには、心臓病やがん、脳卒中、外傷その他の重篤な患者さんが入院しておられます。

ご面会の方で、発熱や咳、下痢などの症状のある方は入院中の患者さんに感染することがありますので、面会をご遠慮ください。また、**特にお子さまにつきましては、麻疹・水痘・おたふくなどの流行性疾患に感染していることもありますので、患者さんへの感染、また患者さんからご面会の方への感染防止のためにも、小学生以下のお子さまの面会をご遠慮いただいております。**

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

病院長 松谷 雅生



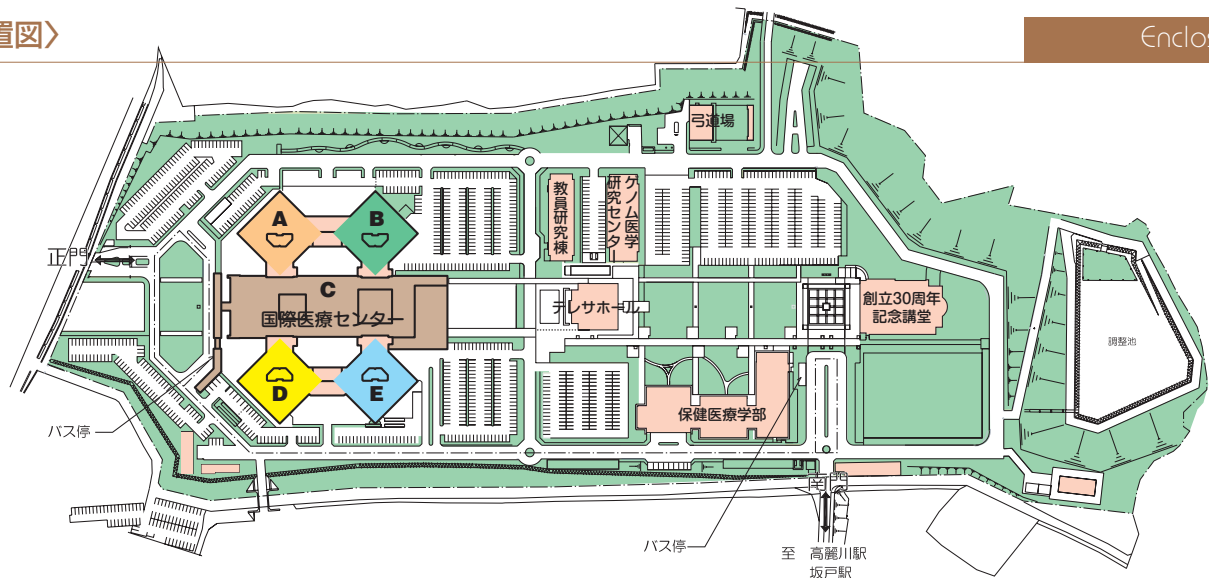
■B棟2階小児病棟の七夕飾り

国際医療センター周辺道路マップ



〈構内配置図〉

Enclosure map



〈交通案内〉

Access

○ 電車を利用される場合

池袋駅 (東武東上線43分) 坂戸駅 (東武越生線13分) 東毛呂駅 (路線バス約15分)
池袋駅 (東武東上線30分) 川越駅 (JR川越線25分) 高麗川駅 (路線バス約10分)
大宮駅 (JR埼京線17分) 川越駅 (JR川越線25分) 高麗川駅 (路線バス約10分)
八王子駅 (JR八高線13分) 拝島駅 (JR八高線30分) 高麗川駅 (路線バス約10分)

○ 埼玉医大方面バス時刻表

平成19年4月1日現在

平成19年4月1日現在 東毛呂駅発				
埼玉医大行き 埼玉医大・国際医療センター経由 埼玉医大保健医療学部行き				
	平日	土曜	日曜	休日
7	35 45 54	38 51		38 51
8	05 15 25 37 47 59	17 28	00 15 22 37 48	00 15 22 37 48
9	08 26 38 51	00 11 31 49		02 14 21
10	02 15 37 59	16 48	03 32 50	03 20 37 54
11	20 33 50		07 35 48	10 50
12	07 20 50		05 18 35	02 20 34 53
13	03 21 37		05 18 35	36 52
14	02 35 49		05 20 48	34 50
15	03 21 49		02 22 34	04 22 39
16	05 41	10 53	06 37	04 49
17	00 31	17	08 21	05 24 42
18	09 32		24 40	24 40
19	23			

無印：埼玉医大行き ★：埼玉医大経由 埼玉医大保健医療学部行き
●：直通国際医療センター・埼玉医大保健医療学部行き (埼玉医大 (毛呂山内駅) は経由しません)
川越駅バスの定期乗車券・バス共通カードは、東毛呂山内駅またはこの店 (049-294-0330) にて発売しています。 【川越観光】

平成19年4月1日現在 高麗川駅発				
埼玉医大・国際医療センター経由 埼玉医大行き				
	平日	土曜	日曜	休日
7	32 51 54	51	51	
8	04 05 18 19 29 31 34 49 50	05 29 37 53	37	
9	02 03 17 08 32 36 45 55 56	18 52	18	
10	04 12 16 23 39 42	05 42	05	
11	00 06 07 25 35 45 56	09	09	
12	04 10 32 33 50	10	10	
13	26 54	04	04	
14	06 25 45	04	04	
15	08 26 56	05	05	
16	34	08	08	
17	02 21 29 44	06 24 41	06 41	
18	11 25 54	25 44	44	
19	25 53	24		
20	15	02	02	
21	05			

無印：保健医療学部・国際医療センター経由 埼玉医大行き
●：保健医療学部経由 埼玉医大・国際医療センター行き
★：快速 (ノンストップ) 埼玉医大保健医療学部行き
◆：埼玉医大保健医療学部の休校日は運休 【国際興業】

平成19年4月1日現在 埼玉大学国際医療センター発				
高麗川駅・高麗駅経由 飯能駅行き				
	平日	土曜	日曜	休日
7	52			
8	22 37 55	28	28	
9	16 26 43 55	17 26 56	17 56	
10	12 22 37	23 49	49	
11	04 31 49	15 51	51	
12	14 30 52	51	51	
13	07 53	44	44	
14	07 34 47	45	45	
15	26 44	45	45	
16	18 18 45	49	49	
17	15 44 57	52	52	
18	05 25 46	06 27	27	
19	02 28 55	03 32	32	
20	31 45	02 31	31	
21	33			

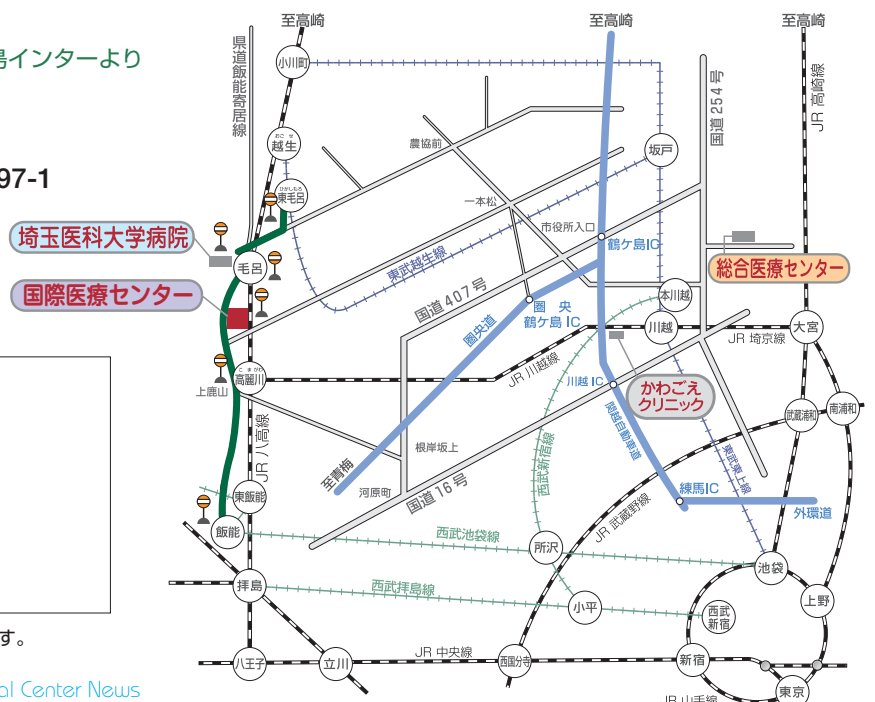
無印：飯能駅行き 【国際興業】

平成19年4月1日現在 埼玉大学国際医療センター発				
埼玉医大行き 東毛呂駅行き				
	平日	土曜	日曜	休日
7	59	59	59	
8	13 26 27 42 58	45 57	45 57	
9	11 14 26 39 44	01 21 26	26 44	
10	04 06 24 32 50 51	00 07 13 32 50	13 44	
11	14 17 43 47	02 17 29 59	17 33	
12	04 18 20 41 50 58	18 29 58	12 18	
13	17 34 51	12 32	12 17	
14	02 14 22 53 55	02 12 35	12 14	
15	16 22 34 49	13 14 47	13 15	
16	04 25 32 42	16 28 59	16 24	
17	10 14 29 37 52	14 32 37 49	14 49	
18	04 19 27 33	06 33 52	03 52	
19	02 02 33	02 32	02	
20	01 12	10	10	

無印：埼玉医大行き (国際興業バス)
○：東毛呂駅行き (川越観光バス)
入：埼玉医大入口経由 (埼玉医大構内は経由しません)
急：急行 (埼玉医大入口のみ停車・埼玉医大構内は経由しません) 【国際興業】

○ 車を利用される場合

圏央道圏央鶴ヶ島インター・関越自動車道鶴ヶ島インターより
10Km. 約15分。
県道30号 (飯能寄居線) 沿い
住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1
TEL：042-984-4111 (番号案内)



埼玉医科大学国際医療センターニュース

August 2007 第2号【院内配布用】

編集・発行 埼玉医科大学国際医療センター総務課
TEL：042-984-4128
FAX：042-984-0432
発行責任者 尾本 良三
発行日 平成19年8月30日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。